

子どもを健やかに育むために ～愛の鞭ゼロ作戦～

愛の鞭をやめて、子どもを健やかに育みましょう。

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。

以下のポイントを心がけながら、子どもに向き合しましょう。

Point1 子育てに体罰や暴言を使わない。

Point2 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない

Point3 爆発寸前のイライラをクールダウン

Point4 親自身がSOSを出そう

Point5 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援



子育てへの支援 妊娠・出産から産後の育児へ

育児への不安軽減

育児ストレスが児童虐待の大きな要因の一つとされていることから、健康増進課では母子健康手帳交付時にすべての妊婦の方から、育児への不安や支援者について聞き取り、必要に応じて保健師が妊婦訪問をしています。

特に出産前からの支援が必要と認められる妊婦の方については、関係機関と連携し、安心して出産に臨めるよう支援をしています。

子育て世代包括支援センター

妊娠から子育てにわたるまでの様々な相談に関して、母子保健コーディネーター（保健師・助産師）が相談に応じます。

こんにちは赤ちゃん訪問

出産後の育児不安や孤立化を防ぐため、生後4か月までの乳児全戸訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）で、支援が必要な家庭の把握に努めるほか、養育支援家庭訪問の利用を勧めるなど、育児ストレス軽減の手助けをしています。

体罰・暴言は子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼします。

脳画像の研究により、子ども時代に辛い体験をした人は、脳に様々な変化を生じていることが報告されています。親は「愛の鞭」のつもりだったとしても、子どもには目に見えない大きなダメージを与えているかも知れないのです。

体罰は百害あって一利なし。子どもに望ましい影響などもたらしません。

親による体罰を受けた子どもと、受けていない子どもの違いについて、約16万人分の子どものデータに基づく分析が行われています。その結果、親による体罰を受けた子どもは、「望ましくない影響」が大きいということが報告されています。

■子育ての相談先

子育ての悩みなどがあれば、気軽にご相談ください。

- 健康増進課 ☎(32)8905
- 子育て世代包括支援センター ☎(32)8905
- こども福祉課 ☎(32)8903
月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
(年末年始・祝祭日を除く)
- 児童相談所全国共通ダイヤル ☎189
月～金曜日 午後5時15分～午前8時30分
(土・日・祝日、年末年始) 24時間

女性に対する暴力をなくす運動週間

11月12日から25日までの2週間は女性に対する暴力をなくすこと、暴力の被害にあっている人達の安全を守ること、暴力が絶対にあってはならないことを周囲に伝え関心をもってもらう運動週間です。女性に対する暴力を許さない社会を一緒に目指しましょう。

ドメスティックバイオレンス（DV）や、夫婦のこと、家族のこと、離婚など女性の様々な相談に応じるために、DVホットラインを開設しております。女性相談員が相談に応じます。もちろん、秘密は厳守します。

■DVホットライン ☎(32)8724

月曜日から金曜日（祝祭日、年末年始を除く）
午前9時～午後5時（正午～午後1時を除く）



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク